

2019年1月16日
JR北海道釧路支社

「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、1月21日から1月30日まで、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の防止を図り、安全安定輸送を確保するため、「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

踏切事故は一度発生すると列車運休などの大きな輸送障害となるばかりでなく、お客様や踏切通行者の死傷事故を引き起こし、一歩間違うと大きな踏切事故に繋がります。

これから本格的な厳寒季を迎えるにあたり、「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」では、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」、「早めのブレーキとスピードダウン」等、踏切安全通行を踏切通行者に繰り返し呼びかけを行ってまいります。



踏切事故防止キャンペーン啓発活動の様子

1 実施期間

2019年1月21日（月）から1月30日（水）までの10日間

2 実施内容

- ・ 駅コンコースでのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 駅、列車内での放送案内による呼びかけの実施
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置による呼びかけ
- ・ 関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問しての呼びかけ
- ・ ラジオによる踏切事故防止呼びかけ

3 実施計画

- | | | | |
|--------|----------|-------|--------|
| ・ 帯広地区 | 帯広駅コンコース | 1月24日 | 9:20～ |
| ・ 釧路地区 | 釧路駅コンコース | 1月22日 | 10:30～ |

<冬期における踏切事故>

2018年度の冬期における踏切事故は2件（1月14日現在）発生しています。そのうち1件は、12月11日に平野川信号場～御影駅間の学校通り踏切にて、踏切手前でスリップし止まりきれず特急列車と乗用車が衝突する踏切事故が発生しています。

これから冬の厳しさが増す時期を迎えるにあたり、今まで以上に踏切手前で車がスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する等の「冬型事故」の発生が懸念されます。踏切手前では、スピードダウンと早めブレーキを心掛けて通行するように呼びかけを行ってまいります。